

2023年1月27日

## 嵐山線 旅客運賃改定に関する認可申請について

弊社嵐山線ではこれまで、西院駅における阪急電鉄との結節改良や各駅のバリアフリー化による旅客サービスの向上、また老朽化した車両機器や台車の更新、まくら木や電柱のコンクリート化等による保守作業の合理化など諸施設・設備の更新を進めてまいりました。他方、増収施策はもとより、諸経費の削減を図り、経営の合理化等、赤字事業から脱却する努力を続けてまいりました。

しかしながら近年は原材料の高騰による工事費の増加、燃料高騰による電気料金の上昇、最低賃金の上昇や雇用確保維持のために必要な賃金水準維持のため総体的な人件費増加等により、今後の収支見通しにおいて現行運賃では収支改善を図ることが困難な状況です。

今後もバリアフリー化や旅客サービス設備の改善、運転保安度向上、並びに輸送障害の発生頻度減少のための機器更新等の投資を継続的に実施していかなければならず、特に今後3カ年における設備投資計画においては、回生ブレーキと回生電力貯蔵装置の導入による環境への対応、車齢50年を超える車両の更新、今後急速に進む高齢化に対応するための駅のバリアフリー化について集中的に進めることとしております。

これらの設備投資への対応と経営の安定化に向け収支改善を図るため、この度国土交通省近畿運輸局へ旅客運賃の改定の認可申請を行いました。

何卒ご理解の程お願い申し上げます。

### ■旅客運賃改定に関する認可申請の内容について

今般申請いたしました旅客運賃の内容は以下のとおりとなります。

#### 普通旅客運賃

おとな 250円 こども 120円

#### 定期旅客運賃

通勤定期券 おとな(均一制) 1か月 8,500円

通学定期券 おとな(均一制) 1か月 4,000円(改定なし)

※こどもはそれぞれ半額となります。

#### 実施予定日

2023年4月1日

#### その他

今回の申請が認可になりました際に、他の乗車券類及び詳細の取扱いについて別途お知らせいたします。

### ■今般の運賃改定により実施予定の設備更新・投資等の計画について

#### 1. 既設停留場のバリアフリー化

【概要】 バリアフリー化未整備の停留場のスロープ整備、嵩上げ等による段差解消の実現

2023年度: 嵐電嵯峨

2024年度以降: 西大路三条・山ノ内・太秦広隆寺

【目的・効果】 ホーム出入口のスロープ整備と嵩上げにより乗降口との段差を解消、警告ブロックを設置し、高齢者やお身体の不自由なお客さまにも利用しやすい駅施設へと改良します。

## 2. 回生ブレーキ化改造・回生電力貯蔵装置新設

【概要】 2001形(計2両)を改造し回生ブレーキを設置。  
回生電力を有効活用するための回生電力貯蔵装置を新設。

【目的・効果】 既存のVVVF車両2両に回生ブレーキ化改造を実施。  
制動時に発電した回生電力を活用し、消費電力量の削減、CO2排出量の削減に繋げるものです。加えて回生電力貯蔵装置を新設する事で、発電した電気を100%活用できる仕組みを整備します。

## 3. 車両の更新

【概要】 車体製造から50年、電動機等は製造から90年以上が経過する車両7両を更新。

【目的・効果】 老朽化が著しい車両について、部品調達等も可能となり、故障頻度の低減に繋がる車両更新を実施。VVVF、回生ブレーキを導入することで環境負荷を低減。  
車内設備のバリアフリー化も行い、快適性の向上も図ります。

以上